

# 1986国際平和年



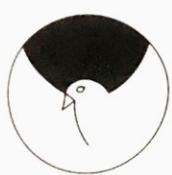
人権擁護、非核・平和宣言の街

さくらい



'World Peace Mark'

桜井市立大三輪中学校  
1985年度1年生の皆さんによる作品より



国際婦人デー

3月8日

国際人種差別反対デー

3月21日

憲法週間

5月1日～7日

差別をなくす強調月間

7月1日～31日

国連軍縮週間

10月24日～31日

人権週間

12月4日～10日

## 世界人権宣言桜井市実行委員会

桜井市 / 桜井市教育委員会 / 桜井市人権擁護委員会 / 桜井市同和教育推進協議会 / 桜井市労働組合協議会  
桜井市同和教育研究会 / 桜井市解放保育研究会 / 部落解放同盟桜井市協議会 / あらゆる差別と闘う桜井市民共闘会議  
桜井市商工会 / 桜井市幼・小・中PTA連絡協議会 / 桜井市企業内同和教育推進協議会 / 桜井市地域婦人団体連絡協議会  
桜井市社会福祉協議会 / 桜井市仏教会 / 桜井市高等学校同和教育研究会 / 私学高校同和教育研究会  
桜井市公共職業安定所 / 桜井市解放会館連絡会 / 部落差別をなくす桜井市民会議

このマークは1986年、国連が国際平和年を制定した年に奈良県の中学生徒が作成したワールドピースマークに平和のメッセージを添えて世界各国の大統領府、首相官邸、大学、美術館博物館に送ったところ多くの国から激励のお返事をいただきました。その中でも3月10日にブルガリアのジフコフ書記長のメッセージをアンゲルアンゲロフ駐日大使、バーエフ公使がメッセージを携えて奈良県の桜井市立大三輪中学校に記念品と一緒に届けていただきました。その年に代表生徒2名と美術教師がソフィアでの平和の旗集会にご招待していただき世界の子どもたちと平和交流を深めることができました。この素晴らしいピースマークをデザインし、平和交流に参加したのが桜井市三輪の平等寺の丸子さん。2022年に三輪山平等寺75世 新命住職になられた記念に1986国際平和年 World Peace Mark が入った色紙を参加者の方々に贈呈されました。

この度、万博開催中のブルガリア館ゲオルギ・コストフ館長様のご厚意で丸子住職のピースマーク(色紙)をブルガリア館に期間限定で展示していただくことになりました。ご高覧ください。会期中の大阪万博大成功とブルガリアの発展、戦後80年を迎えて世界の恒久平和をお祈りします。

三輪山平等寺75世住職 丸子孝仁

美術教師 杉本哲也

This mark, known as the World Peace Mark, was created in 1986, the International Year of Peace declared by the United Nations, by a junior high school student in Nara Prefecture. With messages of peace attached, it was sent to presidential offices, prime minister's residences, universities, museums, and art galleries around the world, and many countries kindly sent back letters of encouragement.

On March 10 of that year, a message from Todor Zhivkov, General Secretary of Bulgaria was personally delivered to Omiwa Junior High School in Sakurai City, Nara, together with commemorative gifts, by Ambassador Angel Angelov and Minister Baev. Later that same year, two student representatives and their art teacher were invited to Sofia to participate in the Peace Flag Gathering, where they were able to deepen exchanges of friendship and peace with children from around the world.

The wonderful Peace Mark was designed by Mr. Maruko of Byodoji Temple in Miwa, Sakurai, who also took part in the peace exchange. In 2022, upon his succession as the 75th head priest of Byodoji Temple on Mt. Miwa, Rev. Takahito Maruko presented calligraphy papers inscribed with the “1986 International Year of Peace – World Peace Mark” to participants in commemoration of his succession.

Thanks to the kind courtesy of Mr. Georgi Kostov, Director of the Bulgaria Pavilion, this Peace Mark (calligraphy paper) by Rev. Maruko will be on special display at the Bulgaria Pavilion during the Expo. We warmly invite you to view it.

On this occasion, we pray for the great success of Expo Osaka, for the continued prosperity of Bulgaria, and for everlasting world peace as we mark the 80th year since the end of the war.

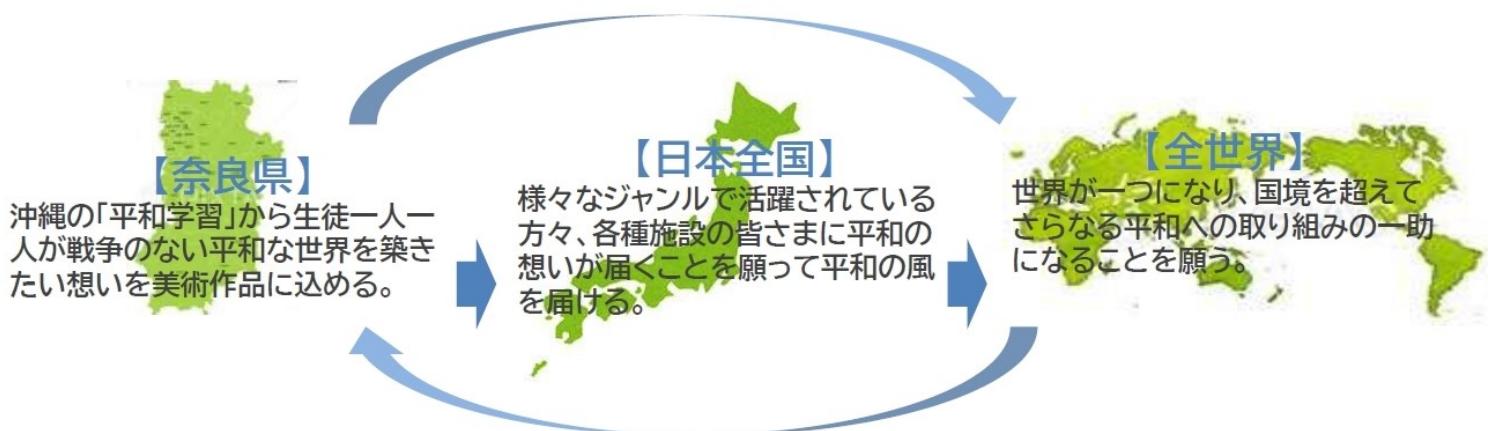
Rev. Takahito Maruko  
75th Head Priest of Byodoji Temple, Mt. Miwa

Tetsuya Sugimoto  
Art Teacher



# 「ピースメッセージ展」

地域から平和のメッセージを発信し続け、  
日本から世界に平和の風を届ける。



一人一人が身近なところから  
平和と友情のネットワークを作り上げる。

## 「ピースマーク」の作成と「平和の旗」への参加

「ピースメッセージ展」  
の原点  
1985~86年

大三輪中学校の1年生が世界平和の「ピースマーク」が国内外で大きな反響を呼び、ブルガリアで開催された「国際平和年」の国際児童集会「平和の旗」に招待された。世界に向けて平和への願いをアピールし、テレビ、新聞などに多く取り上げられた。



「ピースメッセージ展」  
の契機  
2012年~14年

想いの糸で  
つながる27年

沖縄への修学旅行で戦争の悲惨さを知り、ひめゆり平和祈念資料館  
宮城先生の講演で平和の尊さを全員でかみしめる

2012年に春日中学校に来ていただき、戦時中のお話をひめゆり学徒隊の生き残りとして戦争体験を熱く語ってもらい、様々な想いを聞くことができた。いかに戦争のない平和な日常の大切さを改めて生徒、教師全員が感じた。



「ピースメッセージ展」  
第1回開催  
2015年

そして  
未来に向けて

## 平和という言葉のいらない素晴らしい世界を目指して

地域から生徒たちと平和のメッセージを発信し、身近なところから平和と友情のネットワークを築き、「花よりも花を咲かせる土になること」を願って「平和の風」をテーマに2015年8月に第1回を開催した。

## はじまりは40年前

### ■1985年に桜井市大三輪中学校の1年生が「反戦・反核」をテーマに「ピースマークのデザイン」を制作、個性豊かな作品が生まれた。

- 使う必要のない大砲に鳥が巣を作ったり、人々が笑顔で地球を取り囲んだり、黒く塗った地球に「平」の形で木が立つデザインなど「新鮮な感覚の個性豊かな作品」が集まった。
- その後、夏休みの特別教育活動の「平和学習」のとき、広島と長崎の原発の惨状についてビデオを全校で見た後のクラス会で「あのマーク活用する方法」をみんなで考えた。

国内外に成果を  
発信



### ■2学期に入りアメリカ、ソ連、フランスなどの元首をはじめ、国内の大学や美術館、団体等に作品を送り、デザインの意見やメッセージなどをもらった。

- 宛名は生徒一人一人が書いた。「戦争は人類を破滅させます。世界平和実現のための平和マークを送ります」というメッセージを添えた。国外には英文の手紙を送り、国内を含めて約数十か所に送った。

大きな反響を  
呼ぶ



### ■海外からの15通を含む30通以上の返書が届き、大きな反響があった。

- 沖縄県立博物館、石橋美術館、大原美術館、足立美術館、古代オリエント美術館など国内から指摘やアドバイスなどが届いた。また、フランス大統領府や大英博物館など海外から激励の言葉が贈られた。生徒たちは寄せられた意見を参考にマークを着色するなど、新たな展開に取り組んだ。この取り組みはテレビ、新聞などに取り上げられ大きな反響を呼んだ。



## 1986年ブルガリアから「平和の旗」の集会への参加要請が来る

### ■ブルガリア人民共和国から国際児童集会「平和の旗」への参加を要請された。

- 当時の世界は冷戦状態で軍拡競争により世界も平和が脅かされる状態であった。国連では1985年10月にその状況を打破するため「1986年を国際平和年とする」と、正式に宣言されていた。
- そんな折、1986年3月にブルガリア人民共和国の駐日大使、公使が直接、奈良の中学校に来られて、大統領のメッセージを、ピースマークを作成した生徒代表に手渡された。

そして  
世界大会に参加



## 「平和の旗」集会への招待状が届き3人がブルガリアへ

### ■11月に開催された「平和の旗」集会に先生と生徒2名が参加。

- 1986年11月にブルガリアの首都ソフィアで開催された子供の交際平和運動「平和の旗」集会に参加。この集会は世界平和をテーマに創造力豊かな作品やコーラス、ダンスを発表・交歓するもの。15日からの3日間、開会式、平和と友情の木の記念植樹、コンサート、作品の発表会、小学校参観、市内観光などを行い、平和とは何かを世界的な視野で考えるきっかけになった。



「ピースメッセージ展 2025」は9月8日まで奈良町資料館(奈良市西新屋町14)で開催しています